

現状と主要課題

- ・ 老朽化する社会資本の急増、現場の担い手・技能人材の確保・育成
- ・ 太平洋側の大規模災害時のバックアップ機能
- ・ 環日本海諸国をはじめ国際的な物流の拡大
- ・ 激甚化する自然災害
- ・ 人口減少、高齢化の進行に対応
- ・ 国内外の観光拡大

北陸ブロックの将来像

(1)暮らしやすさに磨きをかけ
更に輝く 新・北陸

(2)三大都市圏に近接し、
東西日本の結節点となる
立地特性を活かし、
日本海・太平洋2面活用型
国土形成を牽引する
新・北陸

社会資本整備の重点目標とプロジェクト

【重点目標】

(1)社会資本の戦略的な維持管理

(2)災害に強い安全・安心な
国土の実現

(3)日本海側の中核ブロックの形成

(4)暮らしやすいコンパクトな
地域づくり

(5)競争力のある産業の育成

(6)対流・交流人口の創出

【プロジェクト】

計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現

情報通信技術を活用した維持管理等の高度化

風水害、土砂災害、地震、雪害、津波・高波等の自然災害への備え

雪国の生活、交通の安定性の向上

船舶の航行安全の確保、港湾・空港における危機管理及び保安体制・対策の強化

日本海沿岸地域の拠点となる港湾の機能強化等による環日本海諸国をはじめとした国々との国際交流の拡大・活性化

日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携

太平洋側での災害発生時の広域的なバックアップや代替性の確保

中心都市等と周辺地域の交流・連携

誰もが安心して暮らせる生活環境の実現

明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生と健全な水循環の維持又は回復

地球環境への負荷の軽減と環境の改善

交流・連携の拡大による産業活動の活性化

地域資源を活かした拠点・ネットワークの形成による観光交流の拡大

歴史・文化を活かした個性的で魅力のある空間の創出

重点目標2 災害に強い安全・安心な国土の実現

- ・プロジェクト2-1 風水害、土砂災害、地震、雪害、津波・高波等の自然災害への備え
- ・プロジェクト2-2 雪国の生活、交通の安定性の向上
- ・プロジェクト2-3 船舶の航行安全の確保、港湾・空港における危機管理及び保安体制・対策の強化

【主要取組の主な記載内容】

【既存施設の有効活用やソフト施策の推進】

■ 水害対策

【既設発電ダムの発電容量等を活かした洪水調節機能の確保(大町ダム等再編事業)
(長野県大町市)(H27年度測量設計中)】

【選択と集中の徹底】

<平成30年度までに事業が完成予定>

■ 緊急輸送道路の整備

【上越魚沼地域振興快速道路(一般国道253号八箇峠道路)(十日町市八箇～南魚沼市野田)
(新潟県十日町市～南魚沼市)(H27年度工事中)[H29年度完成]】

<平成32年度までに事業が完成予定>

■ 海岸侵食対策

【皆月漁港海岸海岸保全施設整備事業(石川県輪島市)(H27年度工事中)[H31年度完成]】

【敦賀港海岸海岸侵食対策事業(福井県敦賀市)(H27年度工事中)[H32年度完成]】

<平成30年代完成予定>

■ 土砂災害対策

【湯川上流砂防堰堤群(富山県富山市、立山町)(H27年度工事中)[H30年代完成]】

<完成時期未定>

■ 水害対策

【信濃川河川改修事業(大河津分水路)(新潟県長岡市、燕市)(H27年度測量設計中)】

【KPIや主要な指標】

[KPI-3] 要配慮者利用施設、防災拠点を保全し、人命を守る土砂災害対策実施率

【H26年度 約40% → H32年度 約44%】

[KPI-5] 人口・資産集積地区等における河川整備計画目標相当の洪水に対する河川の整備率及び下水道による都市浸水対策達成率

【河川整備率(国管理) :

H26年度 約66% → H32年度 約69%】

【河川整備率(県管理) :

H26年度 約57% → H32年度 約58%】

【下水道による都市浸水対策達成率 :

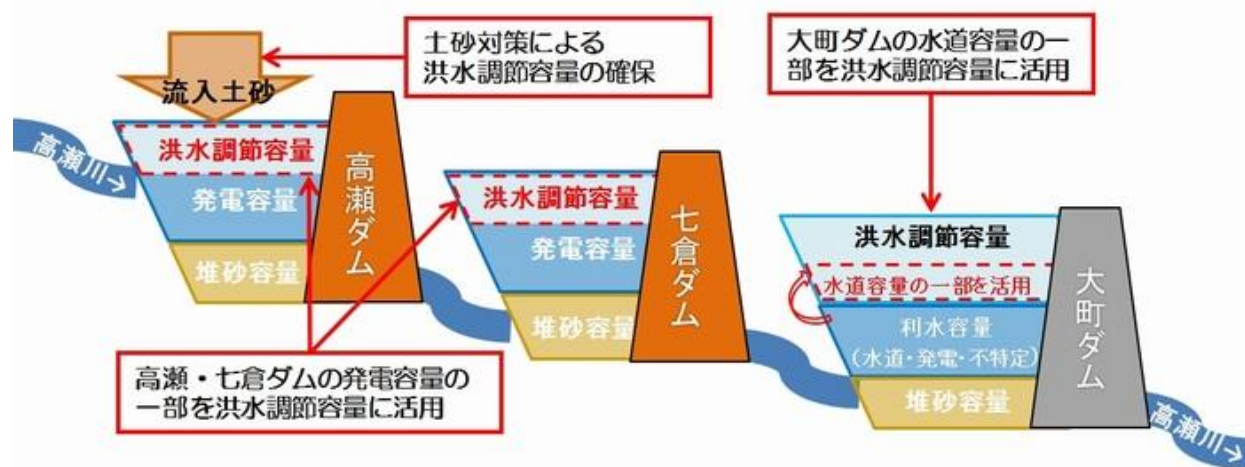
H26年度 約48% → H32年度 約56%】

他

主要取組の事例

【既設発電ダムの発電容量等を活かした洪水調節機能の確保(大町ダム等再編事業)】

【大町ダム等再編事業のイメージ図】



- ◆ 既設3ダムの発電容量等を活かした洪水調節機能の確保等により、治水安全度の向上が図られる。

【信濃川河川改修事業(大河津分水路)】



- ◆ 大河津分水路の洪水処理能力不足対策として河道の拡幅を実施。
- ◆ これにより洪水時の水位が低下し、支川の排水も改善され、戦後最大規模の洪水に対しても、**家屋浸水被害の防止**が図られる。

重点目標4 暮らしやすいコンパクトな地域づくり

・プロジェクト4-1 中心都市等と周辺地域の交流・連携

・プロジェクト4-3 明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生と健全な水環境の確保

・プロジェクト4-2 誰もが安心して暮らせる生活環境の実現

・プロジェクト4-4 地球環境への負荷の軽減と環境の改善

【主要取組の主な記載内容】

【既存施設の有効活用やソフト施策の推進】

■ 都市機能の高度化や快適性の向上

【居住誘導等立地適正化計画の策定推進 (H27年度推進中)】

■ 地域の拠点形成の支援

【地方創生の拠点として「道の駅」の活用を支援 (H27年度推進中)】

【選択と集中の徹底】

<平成30年度までに事業が完成予定>

■ 地域交通ネットワークの充実

【金沢外環状道路(一般国道159号金沢東部環状道路)(神谷内町～東長江町)(石川県金沢市)(H27年度工事中)[H29年度完成]】

<平成30年代完成予定>

■ 都市機能の高度化や快適性の向上

【富山駅周辺地区土地区画整理事業(富山県富山市)(H27年度工事中)[H30年代完成]】

■ 地域交通ネットワークの充実

【富山駅付近連続立体交差事業(富山市明輪町～曙町)(富山県富山市)(H27年度工事中)[H30年代完成]】

【既存施設の集約・再編】

■ 小さな拠点の形成

【学校統合により遊休化する小学校の一角を「小さな拠点」と位置付け、周辺の公共施設を含め集約・再編を図る

鳥坂地区「ふるさと集落生活圏」形成推進事業(新潟県妙高市)(H27年度測量設計中)[H29年度完成]】

【KPIや主要な指標】

〔指標〕 都市計画道路(幹線街路)の整備率

【H24年度 62% → H32年度 67%】

主要取組の事例

【金沢外環状道路(一般国道159号金沢東部環状道路)】



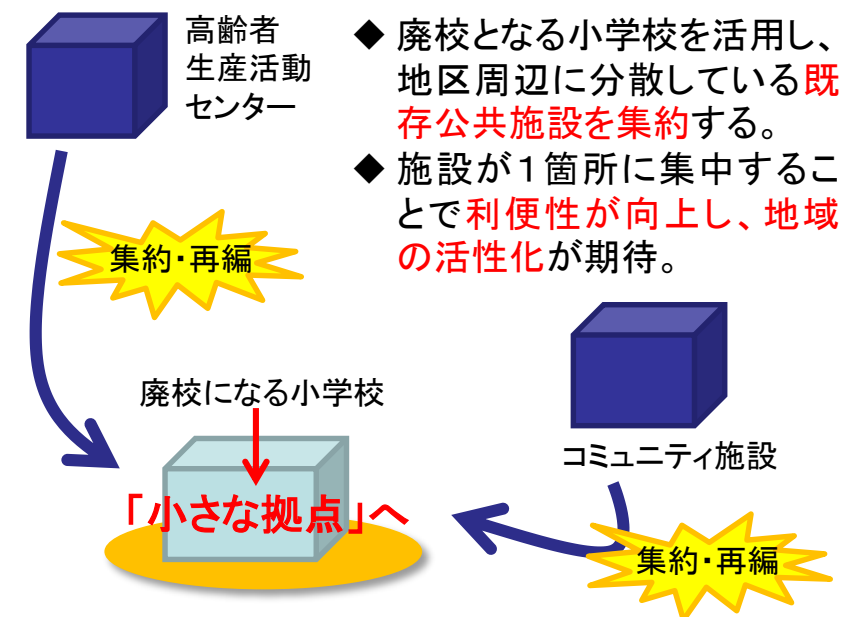
◆ 環状道路の整備により都市部の道路空間の更なる利活用が可能となり、市街地周辺への企業立地や都市部の観光地への観光客の増加が期待

【富山駅付近連続立体交差事業】



◆ 市街地の分断が解消され、駅周辺の効率的な土地利用が可能となる。

【鳥坂地区「ふるさと集落生活圏」形成推進事業】



北陸ブロックにおける社会資本整備重点計画(原案)

プロジェクト5-1 交流・連携の拡大による産業活動の活性化

重点目標5 競争力のある産業の育成
・プロジェクト5-1 交流・連携の拡大による産業活動の活性化

【主要取組の主な記載内容】

【選択と集中の徹底】

＜平成30年度までに事業が完成予定＞

■ 交通ネットワークの強化

【上信越自動車道(4車線化)(信濃町～上越JCT)(長野県・新潟県) (H27年度工事中)[H30年度完成]】

■ アクセス性の向上

【舞鶴若狭自動車道敦賀南スマートIC(福井県敦賀市)(H27年度工事中)[H28年度完成]】

■ 物流拠点の機能強化

【金沢港大野地区国際物流ターミナル整備事業(石川県金沢市)(H27年度工事中)[H29年度完成]】

＜平成32年度までに事業が完成予定＞

■ 物流拠点の機能強化

【伏木富山港伏木地区国際物流ターミナル整備事業(富山県高岡市)(H27年度工事中)[H32年度完成]】

＜完成時期未定＞

■ 交通ネットワークの強化

【一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道)朝日温海道路(新潟県村上市～山形県鶴岡市)(H27年度用地取得中)】

【一般国道8号入善黒部バイパス(富山県入善町～魚津市)(H27年度工事中)】

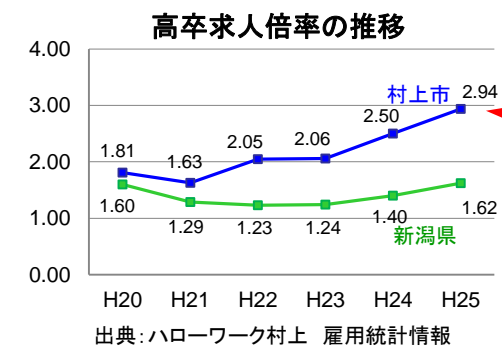
【能越自動車道(一般国道470号輪島道路)(石川県輪島市)(H27年度工事中)】

主要取組の事例・期待されるストック効果

【一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道)朝日温海道路】



- ◆ 今後の道路整備を見越し、航空機内装品の世界トップメーカーが沿線に進出
- ◆ 道路ネットワークや港湾を活かした効率化で事業規模を順次拡大
- ◆ **地元から大量雇用**
- ◆ 今後の道路整備の進捗により、**更なる事業拡大・地元雇用創出が期待**



県平均に比べ高水準で推移

